

(16) 家庭における省エネ管理

地球温暖化防止・省エネ東京連絡会が環境省委託事業「省エネ伝道師プロジェクト」の一環として行っている「エコワット測定体験」を、この正月休みに自宅で行ってみた。これは「エコワット」という省電力測定機器を用いて、各家庭で実際に使っている各種家電製品の消費電力量を測り、家庭における二酸化炭素の排出量について知ってもらおうという試みである。エコワットは個々の家電製品のプラグとコンセントの間に差し込むだけでよいので、誰でも簡単に消費電力量を目で見ながら測ることができる。また測定時間・電気料金の概算も表示されるので、節電に結び付けやすい。

我が家では電気冷蔵庫はコンセントが壁面に密接したところにあって、エコワットを設置することができなかったのは残念であるが、灯油の FF 暖房機、テレビ、オーブンなどの消費電力を計測することができた。待機電力を含めどの程度の電力を各電気製品が消費しているかの相対的なチェックは今後の課題であるが、それにつけても家庭には電気製品が多いのに驚く。灯油の暖房機は電気がなければ利用できないし、いつの間にもやら我が家でも3台のパソコンが動き、ADSLは24時間つけっぱなしであるし、各種充電器、調理器、多様な照明器具など数え上げたら大変だということが、家族でチェックして初めてわかった。

家庭での二酸化炭素排出量の増加原因としては、核家族化による世帯数の増加、自家用車の増加と並んで、各家庭の家電製品保有台数の増加が挙げられるが、実感としても頷けるところである。

家庭で省エネをはじめするには、まず、各種電気製品の利用実態を知ることが重要であろう。環境家計簿で、月々の電力消費量をチェックし、消費量を削減する目標を決め、家族構成員がそれぞれ努力することはもちろん重要であるが、何よりも、われわれ現代人がエネルギーをどこで、どれだけ、どのように利用しているかをチェックすることは、省エネルギー活動を始めるに際してもっとも必要なことであろう。

今日、企業や自治体などでは ISO14001 の環境規格を取得し、省エネルギー活動を進めていることは広く知られていることであるが、こうした環境管理システム(EMS)を簡便化して、ISO14001 を取得できないような中小企業や自営業にも広げ、さらに、家庭においてもより簡便な EMS を展開していくことは何よりも重要である。商店街においてもグリーンコンシューマー活動に積極的に参加するようになってきたし、また、職場の知識を家庭にも広げようと考えている人は多い。EMS を大企業から中小企業、そして各家庭に広げていくことが、今日ますます必要になっているし、また、家庭での省エネを総合的に相談できるコンサルタントの登場が望まれるところであろう。

以上